ながさき こども場所

Vol.1
令和８年 11 月発行

長崎県こども場所相談センターだより

こんにちは。長崎県こども場所相談センターです。

当センターは令和７年８月に開設し、ようやく１年が経ちました。相談対応や活動現場を訪問する中で、こども場所に関心のある方は、私達が思っている以上にたくさんいらっしゃるのではないかと感じています。実際に、これからこどもの居場所づくりを始めたいと思っている方や既にこどもの居場所を作って活動されている方から、様々な相談が寄せられています。

そこで、当センターに寄せられた相談の状況や訪問した居場所の現状や課題等、さまざまな情報を知っていただき、皆さまと一緒に長崎県のこどもの居場所づくりの推進に向けて、取り組んでいければと思っております。

これから定期的におたよりを通して情報発信をしていきますので、お気づきの点やご意見などがありましたら、ぜひ、当センターまでお寄せください。

ながさきこども場所ポータルサイトも併せてご覧ください。

▼ ながさき こども場所　https://kodomobasho.nagahapi.jp/

相談 ピックアップ　長崎市　キッズマネーキッチン長崎

「学生ボランティアをさがしています」



キッズマネーキッチンは、福岡県近郊を中心に活動している団体で、親子でお金について楽しく遊びながら学べるワークショップを開催しています。10 月から長崎県でも展開するにあたり学生ボランティアをさがしている、という相談を受けました。

学生ボランティアが多く在籍している「体験楽習クラブさ～くる」さんが、協力していただけるということで双方をつなぎました。その後、定期的に開催しているさ～くるのリーダー会議に団体が直接説明に出向いたところ、３ 名の大学生がボランティアとして参加する予定となっています。

また、イベントの情報発信や周知についても相談があり、こども場所ポータルサイトの活用と、長崎市教育委員会の長崎市立小・中学校保護者向けの配信(tetoru)申請を紹介しました。

こんにちは

訪問 ピックアップ

長崎市諏訪町　だがしやちぇり







長崎市立諏訪小学校前にある「まちぶら広場」で、月２回開催される移動式の手作りの屋台を引いた駄菓子屋さんです。令和７年度の長崎県こども場所推進事業費補助金（立ち上げ支援）を活用し、こどもや地域の方達が一緒に屋台を手作りしました。

駄菓子は現金で買えるほか、「スマイルチケット」という制度があります。大人がチケットを購入し、こどもが無料で買えるしくみです。

広場では駄菓子屋のほか、地域の人や居場所づくり仲間の協力で、花壇で育てたスイカでスイカわりをしたり、水遊びやボードゲーム、涼める場所も用意されていました。

こどもたちには「ちぇりは木曜日にやっている」認識で定着しており、下校時に屋台を見つけたこども達が放課後の広場に自然と集まり、知らなかった子も学年が違う子も仲良くなって遊び相手がみつかる場所になっていました。

のんびり過ごしたり、からだを動かしたり、おしゃべりしたりこども達が自由に過ごせる空間でした。

研修

「子どもの声を、まちに残す」ができるまで
かにが沢公園ルールづくりプロジェクト　オンライン報告会

ある公園を舞台に、こどもの遊ぶ権利を保障して欲しいという思いから立ち上がったプロジェクトの報告会です。全４回のワークショップで、こども達が公園をどのような場所にしたいか自分達で考え最終的にその思いを看板として形にし、実際に公園に設置するまでの経緯について関係者からお話を聞けました。

地域の大人がこどもの声を聴き、その声を地域の中で形にするプロセスそのものを、こども達と大人が体験しました。特に重要視されたことは大人がこどもの意見を誘導しないことでした。参加する地域のお父さん、お母さんは３時間以上の事前研修を受講し、こどもとの関わり方やセーフガーディング、こどもに大人の意見を押し付けないことを学び取り組みました。このプロジェクトを通して、活動終了後も地域でこどもと関わり続けられる関係性ができたそうです。

地域の環境は誰かが変えてくれるものではなく自分たちで変えていけることを、こども自身が実感できるプロジェクトで、とても参考になる取組みの報告でした。

発行　長崎県こども場所相談センター
長崎市尾上町 3-1　こども未来課内
e-mail：n-kenmin2@eos.ocn.ne.jp